

長野式臨床研究会
平成19年 マスタークラス 東京セミナーQ&A
第4回 平成19年8月26日分 講師 長野康司
長野式臨床研究会ホームページ <http://www.naganoshiki.jp/>

質問1 中耳炎に「漏谷」・「上四瀆」を使いますが、難聴にも効きますか？

効きます。ただし、2ヶ月以上経過しているような難聴は治りづらいです。
高音の耳鳴りは治りづらく、
蝉のようなジージーという低い音は治りやすいです。

質問2 実を抑える経穴、または虚を補う経穴はありますか？

広義で、実には のツボ、虚には のツボ、というものはありません。
それぞれ患者さんの状態に合わせて処置をします。

例) 左腎実の場合、漏谷・上四瀆

肝実には肝実処置

中脈がなければ、胃の気処置・・・etc

質問3 抗凝固剤を服用している患者に対して鍼灸治療をしても大丈夫ですか？

特に問題は無いです。

質問4 甲状腺機能亢進の処置で、「築賓」・「上四瀆」の配穴がありますが、腎の火穴（然谷）に圧痛がある場合はどうしたらいいですか？

火穴を優先に治療することが大切です。この場合、腎の気水穴処置をします。

質問5 女性は右尺の実を婦人科として診て、男性は右尺の実を肺がんや、食道静脈瘤流の疑いと診る。この男女の違いは？

女性は右尺を命門と診て、男性は右尺を心包として診ている。

質問6 脳疾患の患者に対して、「丘墟」・「四瀆」の処置は健側で良いのですか？

脳疾患で錐体路系がダメになっている患者には、
患側の丘墟・四瀆処置にします。

質問7 陽経の気水穴を刺すとき患者さん痛がられるのですがどうしたら良いですか？

0番または1番針を用いて痛みが出ないように治療してください。